学校番号	1202

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	自動車工学	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「自動車工学１・2」　（実教出版）						
副教材等	プリント教材等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・動力の発生の項目を重点的に指導し自動車全体の概略を理解する。
・ガソリンエンジンの項目を重点的に指導する。
・エンジンの性能を重点的に指導する。
・走行抵抗と駆動力と直線走行性能を重点的に指導する。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
　自動車および自動車を構成する各部分の基本的な構造・機能に関する知識および観察・実習の技能を習得し、実際に活用できる能力と態度が身についている。

【思考力、判断力、表現力等】
　自動車および自動車を構成する各部分の基本的な構造・機能に関する知識・技術に課題等を見つけ出し、自ら思考・判断し、創意工夫して課題解決する能力が身についている。

【学びに向かう力、人間性等】
　自動車および自動車を構成する各部分の基本的な構造・機能に関する知識や技術に関心を持ち、意欲的に探究するとともに、主体的に学習に取り組む態度が身についている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自動車及び自動車を構成する各部分の基本的な構造・機能に関する知識及び観察の技能を習得し、実際に活用できる能力と態度が身についている。	自動車および自動車を構成する各部分の基本的な構造･機能に関する知識･技術に課題等を見つけ出し、自ら思考・判断し、創意工夫して課題解決する能力が身についている。	自動車および自動車を構成する各部分の基本的な構造・機能に関する知識や技術に関心を持ち、意欲的に探究するとともに、主体的に学習に取り組む態度が身についている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	自動車のあらまし	自動車の発達 自動車のあらまし 自動車産業 自動車と社会 自動車と安全 自動車と環境	a:現代社会における自動車の役割および自動車の経済性・安全性・環境等にかかわる知識を習得し、実際に活用できる能力と態度が身についている。 b:自動車が環境に与える各種の影響および交通災害について、自ら思考・判断し、さらに、進んで環境保全などに取り組む能力が身についている。 c:自動車のあらましや自動車の産業、自動車と社会のかかわりなどに関心を持ち、意欲的に探究するとともに、主体的に学習に取り組む態度が身についている。	考査 小テスト プリント	考査 小テスト プリント	学習態度 振り返り シート
2学期	自動車の原理	自動車の力学 動力の発生 動力の伝達 自動車の操作のしくみ 自動車の制動	a:自動車の概要と力学、自動車用エンジンの働きと動力伝達に関する装置および自動車の操作と制動についての基本的な知識を習得し、実際に活用できる能力と態度が身についている。 b:力と運動、仕事とエネルギー、熱と仕事などについて、自ら思考を深め、最適な数理処理を活用し、適切な判断に基づいて創意工夫しながら数値処理を行う能力が身についている。 c:自動車の概要と力学、自動車用エンジンの働きと動力伝達に関する装置および自動車の操作と制動について関心を持ち、意欲的に探究するとともに主体的に学習に取り組む態度が身についている。	考査 小テスト プリント レポート	考査 小テスト プリント レポート	学習態度 振り返り シート レポート

3学期	自動車用エンジン	ガソリンエンジン ディーゼルエンジン その他の原動機 エンジンの性能	a:自動車用エンジンの構造・機能・性能および付属装置としての点火・燃料・潤滑・冷却等の各装置の構造と働きについて理解し、排出ガス対策と規制など自動車の環境保全に関する知識を習得し、実際に活用できる能力と態度が身についている。 b:自動車用エンジンの構造・機能および環境に配慮したエンジンの性能について、自ら思考を深める能力が身についている。 c:自動車用エンジン(ガソリン・ディーゼル)の性能およびその付属装置などについて関心を持ち、代替エネルギーの利用、ハイブリッド車や電気自動車などの新技術についても意欲的に探究するとともに、主体的に学習に取り組む態度が身についている。	考査 小テスト プリント レポート	考査 小テスト プリント レポート	学習態度 振り返り シート レポート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度